

## 校長だより ～さあ二学期です～

平成24年9月6日(木)  
沖縄県立読谷高等学校校長 與那覇 健勇

昔から秋は日本人にとって「読書の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」「実りの秋」「天高く馬肥ゆる秋」などと形容され人間の活動が活発で暮らしやすく、多くの人が好きな季節です。

さて、30数年使われてきた旧校舎の解体工事を目前に控え、ホームルーム教室等は仮設教室(プレハブ)に移り二学期を迎えることになりました。仮設校舎での授業は決して快適とは言えないなかですが、教師、生徒たちは100%エンジン全開で二学期もいいスタートがきれたことを嬉しく思います。忘れてならないのは、夏季休業中であるにも関わらず、夏期講座を4期にわたり開設していただいた先生には、生徒のニーズに快く引き受けてくださり、感謝です。お陰で生徒も暑い夏を熱く乗り切ることができました。一方では校舎改築による連日の引越しの作業も大変だったでしょうが、愚痴一つこぼさず有りがたかったです。本校の先生方の頑張りは目に見えないところにこそ潜んでいることを痛感しました。

また、9月29日～30日には「笑顔で出会う物語(ストーリー)達 最高の仲間と最硬の絆 原石は今輝きだす ～心にきざみ新たな校舎(ステージ)へ～」の最高に長めのテーマの下、第17回学園祭が行われます。既に各クラスではその準備にかかっているようです。PTAの役員の方々は沖縄そばを安く提供するようです。楽しみです。

先日うるま市のG中学校から依頼を受け、3年生270人の生徒と保護者に「チャレンジすること、続けること」という演題で1時間くらいの講演をする機会がありました。2学期の実力テスト直後の4時間目でしたが、私語をする生徒もなく素晴らしい態度で、賞味期限の切れそうな私の話を一生懸命聞いてくれました。講演後にさわやかな感動体験をさせてもらってとても良かったです。G中学校から初の入学生があるかもしれません。講演後に寄せられた生徒の感想を読んだとき、涙でにじんで字が読めなくなり、年のせいか涙もろくなっている自分がいました。G中学校の3年生の皆さん「感動を本当にありがとう」

さあ、最も長い二学期が始まりました。始業式には「うちな～嘶家」藤木勇人さんに「島に根ざして」という演題で講演をしていただき、これからの人生に大きな示唆をいただきました。感謝いたします。

今学期も心一杯・体全開で頑張りましょう。